



発行
長崎県高等学校教職員組合
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館
(095)-827-5882
Fax(095)-826-2976
編集責任者 佐藤真一郎
購読料 一部10円
組合員は組合費に含む
メールアドレス
naga-kks@fsinet.or.jp



2023 実習教員部 3年ぶり 地域交流研修会開催

2023年2月12日

(日) 青空の下実習教員部地域交流研修会を参加者13名で実施しました。参加者には事務職員の方やその家族の方々もいらっしやいました。



10時30分に佐世保市のセイルタワーに集合。セイルタワーは、海上自衛隊の史料館であり、大柱に据えていることから「年度内に管理職が指導を行い、納得してもらっているのか。指導が一方通行ではないか」と質しました。

12時セイルタワーから20分程度上り佐世保市や九十九島が一望できる弓張の丘ホテルでのパイクング昼食。(コロナで時間的にも人数的にも受け入れ可能)15分ほど早く着いたので、全教共済のパンフレットを配布し医療共済・自動車共済について説明を行いました。単年契約であるメリットや、実際の経験や給付についての具体的な話をしました。退職まじかの先生からは「今後のために加入を検討」する。自動車保険について後日相談を受けたので早速内容確認を行い、見積もりの依頼を案内しました。現地でも、まずは見積もりからお願いしますと何度もお断りいただきました。昼食後は、重たいおなかをかかえ針尾(西海橋近く)の旧佐世保無線電信所(針生送信所)の見学。そこでは地元の保存会の方からの説明を受け太平洋戦争の開戦を告げた「ニイタカヤマノボレ1208」を送信した施設として有名であることを知りました。無線等の内部や電信室の見学を行い100年前に建てられた施設とは思えないほどの技術とその姿でした。コロナウイルス感染予防で、3年ぶりに実施を計画し実施できた交流会でした。多くの方に参加いただき貴重な体験をすることができました。大戦に対する意見は様々あると思いますが、どの時代も命は大切にすべきです。今も悲しい争いが世界ではおきています。参加者の中には小学生もいましたが、どのよう感じたか知りたいところです。

現場から不服の声

県教委 人事評価制度(賃金リンク)アンケート実施

高教組は8回にわたる人事評価制度(賃金リンク)交渉において、評価の「精度」を高めるためにアンケート実施について強く要望しました。県教委もアンケート実施には前向きな態度を示し、11月25日にアンケート項目について、折衝を行い、人事評価に求められる3要素「透明性・客観性・納得性」に基づいて質問項目を設けるように求めました。

2月24日「自身の評価に納得がいかない」という相談が高教組にありました。高教組は、Aさんと内容を確認し、管理職が下した評価に問題があることを確認して、県教委の苦情相談員につなぎました。

3月2日「予想していた通りの評価がきた」との相談が高教組にありました。相談者Bさんについて、管理職は「ベテラン教員としてのリーダー性が求められるレベルに達していない」と所見で記し、本人が納得できない評価でした。人事評価制度の手引きの中の「職務を遂行する上で通常必要な水準・着眼点」には、管理職から主幹教諭(部主事)までリーダーシップの発揮を求めています。しかし、指導教諭及び教諭には「リーダーシップ」の文言はありません。高教組は教委に対して「標準職務遂行能力として求められていないリーダーシップを教諭に求め、評価を下げるのは合理性がない」と

抗議しました。また、県は「人事評価制度を教職員の資質向上」を柱に据えていることから「年度内に管理職が指導を行い、納得してもらっているのか。指導が一方通行ではないか」と質しました。

このように実際に評価者の主観が入るなど、根拠や確信がない最終評価がありました。評価者の誤った認識が教職員の生涯賃金に影響を与えてしまう制度です。

管理職による最終評価で悩んでいる教職員が周りにいないでしょうか?今年度は賃金に つながらない試行でしたが、来年度はもっとシビアになってくると思われまます。

この制度の問題点を改めて浮き彫りにするために、高教組はWE

Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。

不服申し立てを利用しました

しかし、2023年3月に示されたアンケートは人事評価制度の肝である「透明性・客観性・納得性」を担保するための質問項目はななく、「面談が実施されたかどうか」「指導助言を受けたかどうか」という職員の資質向上に関する質問項目だけで構成され、評価の「精

度」を検証できるアンケートにはほど遠い中身でした。評価を資質向上につなげるのであれば、まず評価が、透明で、客観的で、納得のいくものであることが大前提です。評価者の主観を排除できない評価方法には問題があり、民間では多くの企業が廃止の方向で動いています。そもそも教育庁は、一般行政職などの知事部局とは異なり、制度上教育の独自性が担保されています。にもかかわらず、問題ある制度をなぜ急いで導入するのか。県教委の見識が疑われます。

「人事評価の不服申し立て(苦情相談制度)」を活用した組合員Aさんがあります。Aさんの総合評価はA評価でしたが、「小項目でも納得できない評価は受け付けない」として、仕事に対する

「職員は年休取得の権利を制限してしまう評価は問題だ」と指摘し、県教委へ抗議しました。申し立ての結果、評価は変更されました。Aさんの総合評価はA評価でしたが、「小項目でも納得できない評価は受け付けない」として、仕事に対する

「標準職務遂行能力として求められていないリーダーシップを教諭に求め、評価を下げるのは合理性がない」と

抗議しました。また、県は「人事評価制度を教職員の資質向上」を柱に据えていることから「年度内に管理職が指導を行い、納得してもらっているのか。指導が一方通行ではないか」と質しました。

このように実際に評価者の主観が入るなど、根拠や確信がない最終評価がありました。評価者の誤った認識が教職員の生涯賃金に影響を与えてしまう制度です。

管理職による最終評価で悩んでいる教職員が周りにいないでしょうか?今年度は賃金に つながらない試行でしたが、来年度はもっとシビアになってくると思われまます。



12時セイルタワーから20分程度上り佐世保市や九十九島が一望できる弓張の丘ホテルでのパイクング昼食。(コロナで時間的にも人数的にも受け入れ可能)15分ほど早く着いたので、全教共済のパンフレットを配布し医療共済・自動車共済について説明を行いました。単年契約であるメリットや、実際の経験や給付についての具体的な話をしました。退職まじかの先生からは「今後のために加入を検討」する。自動車保険について後日相談を受けたので早速内容確認を行い、見積もりの依頼を案内しました。現地でも、まずは見積もりからお願いしますと何度もお断りいただきました。昼食後は、重たいおなかをかかえ針尾(西海橋近く)の旧佐世保無線電信所(針生送信所)の見学。そこでは地元の保存会の方からの説明を受け太平洋戦争の開戦を告げた「ニイタカヤマノボレ1208」を送信した施設として有名であることを知りました。無線等の内部や電信室の見学を行い100年前に建てられた施設とは思えないほどの技術とその姿でした。コロナウイルス感染予防で、3年ぶりに実施を計画し実施できた交流会でした。多くの方に参加いただき貴重な体験をすることができました。大戦に対する意見は様々あると思いますが、どの時代も命は大切にすべきです。今も悲しい争いが世界ではおきています。参加者の中には小学生もいましたが、どのよう感じたか知りたいところです。

この制度の問題点を改めて浮き彫りにするために、高教組はWE

Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。

高教組が人事評価制度WEBアンケートを実施します

WE Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。

WE Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。

WE Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。

WE Bアンケートにとりくみます。制度に反対だけでなく、賛成の意見も書き込めるようになります。



回答はスマホからでも可能です。

長崎の子どもと教育を考える「この映画を多くの人にみてもらいたい」

2月23日(祝・木)に高教組会館で冬の教研として齊加尚代監督(大阪毎日放送ディレクター)のドキュメンタリー映画「教育と愛国」を視聴しました。

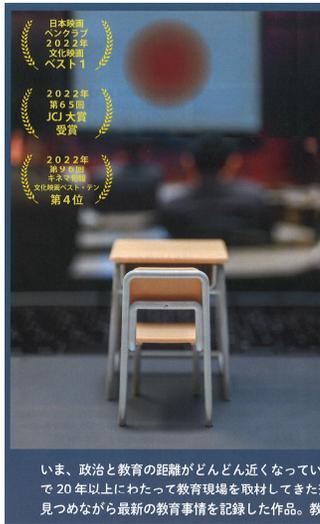
「いま、政治と教育の距離がどんどん近くなっている。この危機感のもと、20年以上にわたって教育現場を取材してきた監督が教育と政治の関係を見つめてきた」作品です。以下参加した先生方の感想を掲載します。

政治が、教育に介入しているということ、教科書問題はこうなっているということ、先生方や保護者にもっと知らせたい。この映画を多くの人にみてもらいたいと思う。

教科書には企業の意向も入るようになっていくと思う。(教職員の会Iさん)

教育への政治介入がひどくなっていると改めて感じた。小学校では少し前に学力テスト

教育と愛国



自主上映会募集中!
いま、政治と教育の距離がどんどん近くなっている。この危機感のもと、大阪・毎日放送(MBS)で20年以上にわたって教育現場を取材してきた齊加尚代ディレクターが、「教育と政治」の関係を見つめながら最新の教育事情を記録した作品。教科書は、教育はいつい誰のものか……。

が導入されたが、現場が息苦しくなってきた。この数年強く感じている。その背景にあるものについて、この映画を観て改めて考えることができた。(教職員の会Sさん)

社会科で歴史を教えているので、当事者として色々と考えさせられた。(未組合員Hさん)

教科書を攻撃する方々は、自身を愛国者だと思いついて、国を愛するとは国民を愛するということ。国民にウソを信じ込ませようとしている方々が日本を愛しているとは到底思えない。(岡山さん執行委員・諫商)

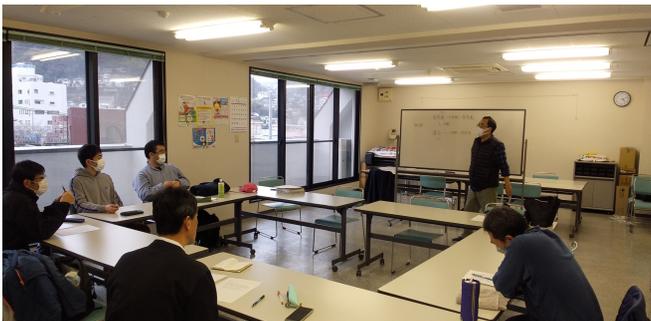
教育も政治であると思ふ。そのことをこの映画を観て改めて感じた。教育をするこ

とによって次の国がつけられていく。学校においても政治の話をするべきだと思ふが、避けられることが多い。一律に定められたことをやっ

ていく。(前田さん五島支部長・五島定時)自分で考える力を育てること、主権者としての意識が育つ。愛国心はその後に生まれる。強制されるものではない。

教科書を攻撃する方々は、自身を愛国者だと思いついて、国を愛するとは国民を愛するということ。国民にウソを信じ込ませようとしている方々が日本を愛しているとは到底思えない。(岡山さん執行委員・諫商)

長崎支部教研報告 長崎地区労問題を学ぶ



講師として鍛冶委員長が長崎支部と地区労の経緯を説明 2月18日長崎支部教研@高教組4F



牟田長崎支部長が1月28日長崎地区労春闘討論学習会で討論に参加

参考 地区労加盟団体(順不同) 県タク、合同労組、グリーンコープ労組、県職支部、長崎市職労、長与町職、西海市職、市町村共済、浄化槽協会、放影研、土地改良、衛公労、県住宅供給公社労組、国保連労組、長交本局、長交長崎、長交長与、長交矢上、県教組長西支部、井筒分会、建設長崎、NBC、九商、浜屋食堂、労金長崎、労金県庁、労済労、国労、高教組長崎支部、九州急行バスユニオン、郵政ユニオン、長崎バスユニオン、県営バス観光

自然災害ももちろん **おうちの共済** に補償

火災は もちろん **おうちの共済** に補償

地震特約付 火災・自然災害 共済

賃貸にお住まいの方は **借家人賠償責任特約**もオススメ!

共済も労働組合も原点は同じ「助け合い」

おうちの共済加入者からのお礼のはがき

この度、まさかの思いもかけなかった火災にありました。火で燃える我が家をブルブル震えながら眺めて、頭に浮かんだのは全教火災共済(おうちの共済)のことでした。早速電話しました。やさしくわかりやすい対応をしてくださり、80才の私も難なくスラスラと続けることができ、この度の給付をいただき、誠にありがたく心落ち着きました。ありがとうございました。

長崎支部教研が2月18日に高教組会館で実施されました。鍛冶執行委員長を講師に迎え、全労連と連合、長崎地区労(以下、地区労)について学びました。長崎支部は地区労に加盟しているが、脱退も検討しています。講話の内容は以下のようなことでした。

「地域の労組が集まって地区労をつくっている。地区労は連合系。」

中央の労組が全労連と連合に分かれる際、地区労はなくなる予定だった。しかし、地域の小規模労組が全国規模の組織での活動は難しく、地区労が存続することになった。高教組は全労連系の全教に加盟しており、高教組として地区労との関係はない。長崎支部は支部単独で地区労に加盟している。(鍛冶長崎支部)書記長のときに、地区労の加盟費負担額が大きいのことを理由に地区労脱退を申し入れた。しかし、地区労側から「何とかして残って欲しい」と強く懇願され、今に至っている。

現在、長崎支部と地区労の関係は、教育全国署名を依頼して昨年は500筆、一昨年は807筆の署名を集めてもらっている。他、ミーデーや平和行進に、支部役員や分会長が参加しているなどです。

参加した平湯さん(鳴滝屋)は「地区労への加盟費と全国署名の協力を考え合わせ、地区労に継続加盟か脱退かを考えねばなりません」と話します。

この件については長崎支部が議論をオープンにして最終判断を行います。参考意見などありましたら、本部にお願いします。